

地域公共交通の

施策などを調査しました

総務建設委員会

調査地

①静岡県富士市 ②静岡県地震防災センター

調査日

令和6年10月28日・29日

調査事項

富士市の公共交通について
地震防災対策について

富士市では、コミュニティバス・デマンドタクシーの運行、自動運転の実証運行など、地域が抱える交通課題の解決に向け、様々な施策を展開してまいりました。地域の特性に応じた施策をとる、公共交通を将来にわたって持続可能なものとする、ことが重要であることを学びました。

地震や津波、風水害など、様々な災害について、静岡県地震防災センターで、映像や体験、展示などから学びました。災害に対する日頃の備えや地域での支え合いが非常に重要であることを改めて認識しました。



防災センター見学の様子

学校と地域の在り方について

調査しました

文教福祉委員会

調査地

①佐賀県武雄市 ②長崎県長与町

調査日

令和6年7月23日・24日

調査事項

官民一体型学校「武雄花まる学園」について
運動部活動の地域移行について

武雄市では、公教育のより一層の充実を目指し、「民間」の塾のノウハウや活力を「官庁」のシステムへ導入する官民一体型の教育を実現してまいりました。児童の集中力・達成感・自己肯定感を育むため、朝の学習時間を使って取り組まれていました。

一方、長与町では、町内中学校の運動部活動12競技において、土日練習などを地域スポーツへ移行してまいりました。生徒は、より専門的な指導を受けられ、教職員の負担軽減にも繋がります。本町においても創意工夫を凝らし、段階的に移行できるように図ってまいります。



長与町役場での調査の様子

読みたくなる誌面づくりについて

議会広報広聴調査特別委員会

調査しました

調査地 埼玉県寄居町

調査日 令和6年7月31日・8月1日

調査事項 議会広報の編集について

本誌編集の参考とするため、寄居町を視察しました。寄居町議会が発行する広報誌「お元気で

すか 寄居議会です」は、全国町村議会議長会が主催する広報コンクールにおいて、平成29年度から7年間で最優秀賞を6回受賞しています。

「読まれない議会だよりに出す意味なし」という考えのもとで、住民が興味を持ち、手に取ってもらえる広報誌とするため、同町議会では、編集に当たって、様々な工夫をしていました。



寄居議会だより令和5年3月定例会号より抜粋

ここではその一部をご紹介します。

工夫その1 多くの町民参加を心がける

議員の声だけでなく住民の評価(声)も一緒に掲載。議員が住民を直接取材(左上の写真のように、住民さんの声が載っています。)

工夫その2 優先順位をつける

単に議会で決まったことを報告するのではなく、審議の経過を伝える。住民の関心が高いと思われる案件に優先順位を付けて紹介する。

工夫その3 写真で伝える

記事と連動性のある写真を表紙に使用。見出しはインパクトのある表現に。

今回の調査で学んだことを編集に活かし、少しでも皆様に読んでいただける議会だよりとなるよう努めてまいります。



寄居町での調査の様子

KOE METER 議会が聴いた 皆さんの声
今号は14人登場



これまでに登場した住民の人数をカウントする寄居議会だよりの「声メーター」